



昨年の会場風景

平成20年7月7日(月)

愛知県産業技術研究所 瀬戸窯業技術センター

担当 応用技術室 山田、後藤

電話 0561-21-2116、2117

愛知県産業労働部地域産業課

担当 技術振興・調整グループ 加藤、木津

内線 3360、3361

(ダイヤルイン) 052-954-6340

## 瀬戸蔵にて「陶&くらしのデザイン展2008」を開催します

—愛知県産業技術研究所はじめ全国の公設試験研究機関が出展—

愛知県産業技術研究所はじめ、陶磁器に関係する全国の公設試験研究機関が取り組んだデザイン開発の成果や試作品を一堂に集めて公開展示する「陶&くらしのデザイン展2008」<sup>※1</sup>の本展<sup>※2</sup>を、7月10日(木)から16日(水)までの6日間(14日(月)は休館)、瀬戸蔵(瀬戸市)で開催します。

展示会では、陶磁器を中心とした食器やインテリア用品など165点を展示します。愛知県産業技術研究所からは、瀬戸窯業技術センターが陶磁器組合と共同開発した箸置き、常滑窯業技術センターが開発したパーテーション用建材ブロックなど、最新の成果や試作品を出展します。

また併催行事として地元瀬戸市の(株)セラミック ジャパン<sup>※3</sup>代表 杉浦豊和氏の講習会が開催され、専門家はもとより一般の方にも楽しんでいただける陶磁器産地ならではのイベントとなっています。

### 【展示会の概要】

1 名称

陶&くらしのデザイン展2008

2 会期

平成20年7月10日(木)から7月16日(水)までの6日間(7月14日(月)の瀬戸蔵休館日を除く)

午前10時から午後6時まで(最終日は午後4時まで)

3 会場

瀬戸蔵(4階多目的ホール)

〒489-0813 瀬戸市蔵所町1番地の1 TEL 0561-97-1555

4 入場料

無料

5 参加機関

陶磁器に関係する全国の公設試験研究機関 14機関

## 6 展示内容

陶磁器を中心としたインテリア・エクステリア用品などの試作品やデザイン提案(開発コンセプトや製品アイデア)など、全国の公的試験研究機関が独自に、あるいは地域の企業・業界と共同で開発した成果品165点を展示します。

人と環境にやさしいものづくりや地域ブランドの確立に向けた意識が高まりを見せる中、それぞれの産地が目指すべき技術課題やテーマに沿って開発に取り組んだ成果を展示します。

## 7 主催

陶&くらしのデザインコンソーシアム\*4

## 8 共催

瀬戸焼振興協会、瀬戸地域窯業技術協議会、愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センター

### 【愛知県産業技術研究所の出展】

#### ・瀬戸窯業技術センター

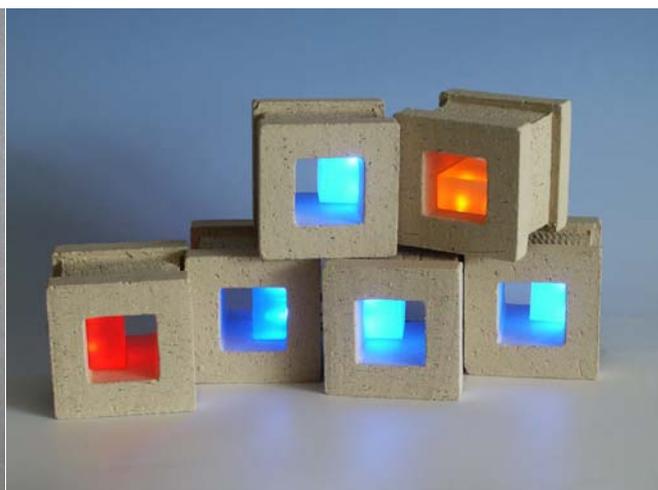
平成19年度に、地元の陶磁器組合の商品開発委員会に参加協力し、箸置の開発を行いました。この箸置は、箸を包むデザインを採用することにより清潔なイメージを塗り箸に与え、割箸の使用を減らし、割箸のために伐採されている森林を守ろう、という今までにないコンセプトに基づいて作られたものです。ラフスケッチから商品化までの1年の経過を紹介するパネルも合わせて展示します。(下図左参照)

#### ・常滑窯業技術センター

「パーティション建材のシステムデザイン」を出展します。これは駐車場やアプローチなどのパーティションに適した建材で、常滑産地の得意とする押出成形で作られた有孔ブロックです。光や風を適度にコントロールする特性に加えて、光による演出効果をねらい、LED(発光ダイオード)を組みこみました。発光の美しさとともに人を導く誘導灯としての効果が期待できます。(下図右参照)



瀬戸窯業技術センター  
箸置のデザイン開発



常滑窯業技術センター  
パーティション建材のシステムデザイン

## 【併催行事】

### ◎講習会

- (1) テーマ：『セラミック ジャパンにおけるデザインと流通』
- (2) 講師：杉浦豊和氏
- (3) 日時：平成20年7月11日(金)午前10時から11時まで
- (4) 会場：瀬戸蔵 4階 第2、第3会議室
- (5) 定員：35名(事前申し込み：先着順)
- (6) 受講料：無料

### ※講習会の申し込み及び問合せ先

愛知県産業技術研究所 瀬戸窯業技術センター

担当 応用技術室 山田、後藤

Tel : 0561-21-2116、0561-21-2117 FAX : 0561-21-2128

## 【参考】

### ※1 陶&くらしのデザイン展について

この展示会は、デザインや技術が人々の生活を潤すとともに、産業の活性化に寄与している姿を実感してもらうことを目的に、昭和38年に陶磁器試験研究機関作品展として発足し、その後、陶&くらしのデザイン展へと名称が変更になりました。今回は通算で45回目の開催となります。

### ※2 本展と巡回展について

陶&くらしのデザイン展は、本展と巡回展で構成されています。

本展は、その年の最初の展示会であるのに加え、講習会などの併催行事や公的試験研究機関のデザイン関係職員が意見交換を行う協議会が開催される規模の大きなイベントです。本展が瀬戸で開催されるのは3年連続3回目です。

巡回展は、本展開催後に全国を巡回する展示会で、今回は9月から11月にかけて、以下の窯業地を巡ります。

○信楽展：9月13日(土)～10月6日(月) 9:00～17:00 信楽伝統産業会館(木曜休館)

○四日市展：10月10日(金)～10月13日(月/祝) 10:00～17:00 ばんこの里会館

○岐阜展：10月18日(土)～10月20日(月) 9:00～17:00 セラミックパーク MINO

○常滑展：10月25日(土)～10月26日(日) 9:00～17:00 旧常滑高校体育館

○京都展：11月7日(金)～11月9日(日) 10:00～17:00 京都陶磁器会館新館「くるる五条坂」

### ※3 (株)セラミック ジャパンについて

(株)セラミック ジャパン 創業：1973年 瀬戸市中品野町

陶磁器の企画デザイン・販売を行う。ものづくりの起点であるデザインの見直しを図るため、加藤達美、佐久間義敬、小松誠など外部デザイナーを起用し、一貫したデザインポリシーと瀬戸の伝統技術によって数々の製品を生み出してきた。グッドデザイン賞やスペイン陶磁器ガラス展大賞を受賞、MoMA(NY近代美術館)パーマネントコレクションにも選定されるなど、国内外で大きな評価を得る。

#### ※4 陶&くらしのデザインコンソーシアムについて

陶磁器、ガラス、金属、紙などの素材を活用した、くらしに関わる用品のデザインや製造技術に関する情報発信、技術交流を目的に、独立行政法人産業技術総合研究所が中心となって、全国の主な窯業地の公的試験研究機関や業界団体が、平成17年に組織したコンソーシアム(共同事業体)で、デザイン展の開催や研究発表などを行っています。

##### ・陶&くらしのデザインコンソーシアム事務局

独立行政法人 産業技術総合研究所 中部産学官連携センター  
〒463-8560 名古屋市守山区下志段味穴ヶ洞 2266-98  
Tel: 052-736-7055 FAX: 052-736-7403

##### ・会員機関

福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター  
栃木県産業技術センター窯業技術支援センター  
茨城県工業技術センター窯業指導所「匠工房・笠間」  
岐阜県セラミックス研究所  
多治見市陶磁器意匠研究所  
土岐市立陶磁器試験場・セラテクノ土岐  
瑞浪市窯業技術研究所  
愛知県産業技術研究所常滑窯業技術センター  
愛知県産業技術研究所瀬戸窯業技術センター  
三重県科学技術振興センター工業研究部窯業研究室  
福井県工業技術センター  
滋賀県工業技術総合センター信楽窯業技術試験場  
京都市産業技術研究所工業技術センター  
岡山県工業技術センター備前陶芸センター  
愛媛県窯業試験場  
佐賀県窯業技術センター  
長崎県窯業技術センター  
日本陶磁器工業協同組合連合会  
財団法人 陶工会